

市民と議会を結ぶ架け橋

上野原市 議会だより

No.62

令和2年
8月発行

6月定例会



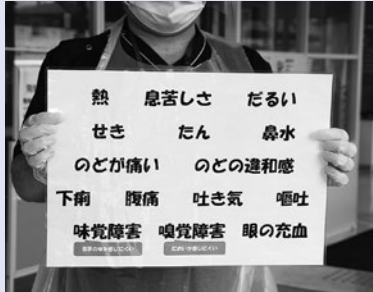
特集

うえのはらで頑張る人
コロナ禍での奮闘!

うえのはらで頑張る人……………	2
定例会で決まった主なこと…	4
議決結果等一覧表……………	6
第1回臨時会……………	7
会期中の審査……………	8
一般質問……………	9
市長へ提言……………	14
議員表彰……………	15
GIGAスクール構想……………	15
市民の声……………	16

うえのはらで頑張る人 Vol.15

コロナ禍での市民の奮闘!



新型コロナウイルス感染症は市内でも大きな影響をもたらしています。市立病院や学校、商工会、飲食店、福祉施設などのみなさんの声を集めました。一刻も早く回復を願う切実な思いがたくさん込められています。

新型コロナウイルス感染症 みんなで力を合わせ克服を



車は走っていても人は閑散

新型コロナウイルスの影響は

- ウイルスは見えないので、いつ自分が感染するのかという不安やストレスにさらされています。 (病院)
- 玄関で体温測定、体調確認等でトリアー（患者の区分け）を行っているので、全職員が分担して当たっています。 (病院)
- 「大きな影響が出ている」「影響が開始めている」という企業は62・5%に上っています。 (機械器具工業協組)
- 予約はほとんどキャンセルになり、来店も激減しました。 (飲食店)
- 食品を扱うため、手指のアルコール消毒、

器具の洗浄などに時間がかかっています。

■ 緊急事態宣言解除後も商店街は閑散とした状況が続いています。

■ 手洗いができない（やりたくない）通所者がいます。 (障がい者施設)



就労施設のうどんづくり

■ 身体機能等の重度の方、ご家族の理由等により施設を利用せざるを得ない方々が多く、コロナ発生前と同じサービスを提供しています。 (介護施設)

■ 緊急事態宣言後は全業種にわたり影響が拡大し、資金繰りに窮する企業も始まっています。 (金融機関)

■ 新型コロナウイルス感染症の関係もありますが、これがきっかけになり廃業する事業所が増えています。

■ 収束した後で、元の状態に戻れるか心配です。

■ 通常通りの教育活動が行われていないため、



融資の相談も増加

■ 通常通りの教育活動が行われていないため、

どのような対応をしましたか

- 手洗い、手指の消毒、マスク着用、施設や器具の消毒、三密回避等を行っています。
- テイクアウトを積極的にすすめ、新聞折込広告も出しました。(飲食店)
- 施設内及び送迎車の消毒・除菌はもちろん身体的距離の確保に加えて、利用者に必要以上の恐怖心を持たせないよう日常会話への配慮も行っています。(障がい者施設)
- 個別に回ることが制限されたので、情報提供を濃くして、会員さんに来てもらうようにしています。(商工会)
- 感染リスクを低減させるため従来の電車通勤を避け、会社の車での通勤を行いました



登校時にも体調チェック

- 学習の定着に不安があります。(学校)
- 長期休業によって児童・生徒やご家庭にストレスが溜まっています。(学校)
- 臨時的な対応のため調整が繰り返され、オンライン授業に向けての準備など教職員に負担が増えています。(学校)



3000枚の手作りマスクが市民から提供されました

- 上野原市からは倒産、閉店するところが今後は出ないよう手厚い援助をお願いします。
- 上野原市事業者応援事業補助制度など様々な支援はありがたいです。

訴えたいことは

- 今後の商店街の在り方を考える上で、議会・行政・商店街が一体となれる下地を造って頂きたいと思えます。



テイクアウトの取組も

- た。(金融機関)
- 新型コロナウイルス感染症に係るいじめや差別の防止に向けた指導、より安心でき、明るい気持ちになれる時間や空間(集団)づくりを工夫しました。(学校)
- 発熱外来を設けるなど、院内感染を防止する対策を取りました。透析の患者さんは入口を別にするなど他の患者さんと動線が重ならないようにしています。(病院)



ガウンは企業から

取材に応じていただいた方に感謝します。取材は5月・6月に行ったので、状況が変わっているかもしれません。ご容赦ください。

- 一人ひとりが感染防止に努めてほしいと思っておりますが、体調が悪ければ、我慢せずに連絡・来院してください。(病院)

- 上野原市の介護サービスの受け皿も少ないので、議会や行政も協力して対応する仕組みがあると心強いです。(介護施設)
- 今後の教育活動には多くの困難が伴うので、そのことを市民や保護者のみなさんに理解してもらえよう発信をお願いします。(学校)
- 相談・支援が本来の仕事なので、困ったことがあれば、どんどん来てくださ



給付金の相談窓口

6月定例会

定例会で決まった 主なこと

令和2年第2回定例会が6月4日から6月16日まで13日間の日程で開かれました。

審議された議案

市長提出議案	35件
計	35件

※議案名・議決結果等は6ページをご覧ください。

条例制定

仲間川簡易水道の料金を改定

仲間川簡易水道は、供給単価が144円/m³に対し給水原価が195円/m³となっており、今後の老朽管等の更新や給水人口の減少を見込んで料金を改定することとしました。2ヶ月の使用量が40m³使用する家庭で月額4950円から8514円となりますが、激変緩和として令和3年4月、令和5年4月と2回に分けた値上げとなります。

議案第65号 上野原市仲間川簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について

議案第74号 上野原市立上野原中学校屋内運動場大規模改造（老朽）工事（明許）請負契約締結について

契約締結

上野原中学校屋内運動場 大規模改造工事の契約締結

早野組・田村組上野原市立上野原中学校屋内運動場大規模改造工事共同企業体との請負契約が、事後審査型条件付き一般競争で締結しました。

契約金額	1億9448万円
代表構成員	甲府市東光寺1丁目4番10号
株式会社	早野組
構成員	上野原市上野原7546番地
株式会社	田村組

議案第75号 化学消防自動車購入契約締結について
議案第76号 消防団用小型動力ポンプ付軽積載車3台購入契約締結について
議案第77号 消防団用消防ポンプ自動車購入契約締結について

契約締結

消防自動車5台を購入契約締結

消防自動車5台を条件付一般競争入札により、(有)中村ポンプ製作所（甲府市）と購入契約締結いたしました。

消防署用化学消防自動車	7568万円
消防団用小型ポンプ付軽積載車3台	2153万2500円
消防団用消防ポンプ自動車	2127万4000円

議案第68号 令和2年度上野原市一般会計補正予算（第2号）

正算 補予

新型コロナウイルス対策など
1億7625万9千円の予算計上

小中学校のオンライン学習化や感染予防対策、事業者支援などの予算が計上されました。

子ども学習支援対策費	2064万円
GIGAスクール構想事業	
感染症予防対策費	2363万2千円
避難所感染対策やマスク配布事業など	
生活関連支援対策費	5832万円
国民健康保険と後期高齢者の傷病手当金の支給 高校生・大学生等への応援事業	
事業者等支援対策費	2434万6千円
中小・小規模事業者や施設の休業補償など	
消防費	185万円
感染拡大に伴う救急資機材購入経費	
道路橋りょう費	3041万2千円
橋りょう長寿命化修繕事業費	
主な歳入	
国庫補助金	1億4023万8千円
財政調整基金繰入金	2512万1千円
市債	1090万円

議案第81号～第94号 上野原市農業委員会委員の任命の同意について

事 案件

農業委員14名の任命に同意

7月19日に任期満了を迎える農業委員会委員の14名の任命に同意しました。

農業委員会委員

岡部 公史 氏	網野 和夫 氏
久島 扶幸 氏	古家 勝夫 氏
木田 好美 氏	佐藤 肇 氏
清水 範男 氏	白倉 孝造 氏
清水 藤夫 氏	高橋 正 氏
石井 太郎 氏	富澤 太郎 氏
杉本 正文 氏	平賀源重郎 氏

議案第95号～第96号 人権擁護委員候補者の推薦について

事 案件

人権擁護委員の候補者を適任
としました

9月30日に任期満了を迎える人権擁護委員候補者の推薦について適任としました。

人権擁護委員候補者

岡本 和洋 氏
安藤 成子 氏

人権擁護委員は、市が議会の同意を得て推薦し、法務大臣から委嘱されます。

令和2年第2回定例会議決結果等一覧表

◆賛否のあった議案 (○賛成 ●反対 ◎賛成討論者 ●反対討論者)

議案番号	案 件 名	付託委員会	内田倫弘	八木一雄	山口 薫	白鳥純雄	遠藤美智子	川田好博	東山洋昭	小俣 修	川島秀夫	杉本公文	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	岡部幸喜	尾形重寅	審議結果	
65	上野原市仲間川簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について	文教厚生	○	○	○	○	○	◎	○	○	議長	●	○	○	欠	◎	○	○	○	可決

◆全会一致の議案

議案番号	案 件 名	付託委員会	審議結果
62	専決処分の承認を求めることについて (上野原市税条例等の一部を改正する条例制定について)	—	承認
63	上野原市手数料条例の一部を改正する条例制定について	総務産業	可決
64	上野原市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について	—	
66	上野原市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	文教厚生	
67	上野原市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例制定について	総務産業	
68	令和2年度上野原市一般会計補正予算(第2号)	—	
69	令和2年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)		
70	令和2年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		
71	令和元年度上野原市継続費繰越計算書の報告について	—	受理
72	令和元年度上野原市繰越明許費繰越計算書の報告について		
73	令和元年度上野原市事故繰越し繰越計算書の報告について		
74	上野原市立上野原中学校屋内運動場大規模改造(老朽)工事(明許)請負契約締結について	総務産業	可決
75	化学消防自動車購入契約締結について		
76	消防団用小型動力ポンプ付軽積載車3台購入契約締結について		
77	消防団用消防ポンプ自動車購入契約締結について		
78	損害賠償の額を定めることについて	—	同意
79	上野原市固定資産評価員の選任の同意について		
80	上野原市農業委員会委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすることの同意について		
81 ～ 94	上野原市農業委員会委員の任命の同意について	—	適任
95 ～ 96	人権擁護委員候補者の推薦について	—	

※ 「—」は委員会付託が省略された議案です。

会期
短縮

令和2年第2回定例会は、6月4日から19日までの16日間を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、初日に補正予算の採決を行い、会期を16日までの13日間と短縮をしました。

第1回臨時会

5月8日令和2年第1回臨時会が招集され、8件の専決処分とともに新型コロナウイルス感染症対策の一般会計の25億2967万1千円を増額する補正予算が提出され、全会一致で可決されました。

議案第61号 令和2年度上野原市一般会計補正予算(第1号)

補正予算

補正総額 25億2967万1千円

■特別定額給付金給付費(国庫補助)

23億0031万9千円

■新型コロナウイルス感染症緊急対策費(市独自)

2億3493万7千円

○子育て世帯対策費

小中学校給食費無償化

子育て世帯臨時給付金

子育て世帯生活支援金

○保健衛生費(高齢者等マスク配布)

○中小・小規模事業者支援対策費

事業者応援事業

飲食店テイクアウト応援事業

融資保証料助成(県50%・市50%)

■主な歳入

国庫補助金

財政調整基金繰入金

23億274万5千円

2億1203万2千円

1億2000万円

300万円

1831万5千円

令和2年第1回臨時会議決結果等一覧表

◆全会一致の議案

議案番号	案件名	付託委員会	審議結果
53	専決処分の承認を求めることについて (上野原市税条例等の一部を改正する条例制定について)	—	承認
54	専決処分の承認を求めることについて (上野原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について)		
55	専決処分の承認を求めることについて (上野原市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について)		
56	専決処分の承認を求めることについて (令和元年度上野原市一般会計補正予算(第9号))		
57	専決処分の承認を求めることについて (令和元年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算(第4号))		
58	専決処分の承認を求めることについて (令和元年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号))		
59	専決処分の承認を求めることについて (令和元年度上野原市介護保険特別会計補正予算(第4号))		
60	専決処分の承認を求めることについて (令和元年度上野原市簡易水道事業特別会計補正予算(第5号))	—	可決
61	令和2年度上野原市一般会計補正予算(第1号)		

※「—」は委員会付託が省略された議案です。

総務産業常任委員会

委員長 昭雄
 委員 山長 純雄
 副委員長 山口 文栄
 委員 山白 友幸
 委員 鳥小 本重
 委員 杉本 部重
 委員 杉岡 形重
 委員 尾形 重

6月8日、委員会を開催し、付託された条例制定2件、契約締結4件、損害賠償の額を定めることについて1件の計7件を審査しました。主な質疑、答弁を要約してお伝えします。「議案第74号 市立上野原中学校屋内運動場大規模改造（老朽）工事（明許）請負契約締結について」は入札の結果、4月30日に仮契約を締結したため、議会の承認を求めるものです。議案第75号から議案第77号については、消防関係車両を消防署へ1台、消防団へ4台、それぞれ配置する事については入札により、有限会社中村ポンプ工作所と仮契約を締結したため、議会の承認を求めるものです。

Q 議案第75号から議案第77号の落札者が同一である。県外の業者等、他の入札はないのか。
A 公告の際の地域要件とし

て、山梨県内、東京都内、神奈川県内に締結権限を有することとしており、公告の期間も十分に取っていることから、入札の競争性は確保されています。

【審査結果】 7案件について採決した結果、いずれも全会一致で、原案どおり可決すべきものと決定しました。

また、閉会中の継続調査として、上野原駅南口・北口と桂川河川敷等の調査や秋山温泉と秋山マス釣場の新型コロナウイルス感染症対策や管理状況について調査する予定となりました。



上野原駅南口広場

文教厚生常任委員会

委員長 智子
 委員 藤美 弘
 副委員長 木一 博
 委員 八木 倫
 委員 内田 好夫
 委員 川島 昭巳
 委員 川口 好巳
 委員 山田 喜保
 委員 長田 幸
 委員 尾形 幸

6月8日、委員会を開催し、付託された条例制定2件を審査しました。

議案第65号「上野原市仲間川簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について」は、簡易水道事業の健全な経営と市内における公平性の観点から、簡易水道料金の改正を行うもので、利用者の負担増を考慮し、令和3年と令和5年の2回に分けて段階的に行うものです。

Q 口径ごとの料金はどうなっているのか、現状からどの程度負担が増えるのか。
A 一般家庭は通常20ミリとなっており、例えば2ヶ月で40㎡使用した場合、現在の4950円が、令和5年には8514円になります。

議案第66号「上野原市介護保険条例の一部を改正する条例制定

定について」は、令和元年10月以降の税率引き上げに関連し、介護保険法施行令が一部改正されたため上野原市介護保険条例の改正を行うもので、第1段階から第3段階までの第1号被保険者の減額賦課について、消費税10%への引き上げによる増収分が満年度化されることに伴い、減額幅を引き上げるものです。

【審査結果】 議案第65号については、異議がありませんので、起立採決を行った結果、賛成多数、議案第66号については全会一致で、いずれも原案どおり可決すべきものと決定しました。



仲間川簡水浄水場

市民生活の安全のため最善の対策を



山口 薫

質問

国は各自治体に、感染症対策として、避難所等の見直しを促しました。当市の避難の計画に、空き教室や廃校を加え、安全な場所なら自宅や親戚、民間施設も避難先として有効と、市民に周知すべきと思うが。

答弁

有効活用の早期検討を。情報格差の解消には、新たな対策が必要となり相当の費用がかかります。5Gは活用が期待され、市も国等の状況を注視し取り組んでいきたいと考えます。

質問

上野原は周囲の山や川の景観も良く、桂川橋付近は桃太郎の生誕地としての伝説もあります。地元の観光協会等では、この観光資源を世界に発信しようと活動しています。市はどのような支援を考えていますか。

答弁

活動する団体には一定の支援を行っています。観光情報発信も、より充実した内容で取り組んでいきます。

質問

地震による北海道の全域停電、台風による千葉県の長期間停電等が発生しています。従来の非常電源に加え、自然エネルギーによる発電や蓄電池設備を備えては。

答弁

現在市役所等に太陽光発電を設置していますが、今後温暖化対策も含め検討したいと考えております。

質問

UBC未加入世帯は、市からのテレビ放送が見られません。この情報格差を早期に解消するとともに、市民生活に影響を与える5Gの



桂川橋付近

特別定額給付金基準日翌日以降の新生児にも子育て支援を



東山洋昭

質問

国では、現在国民一人に特別定額給付金を本年4月27日付で住民票がある方に対して10万円の給付を行っています。出生日が1日違った4月28日以降に生まれた新生児には、特別定額給付金は支給されません。保護者の方に対して、市独自の子育て支援ができないものか。

答弁

国の特別定額給付金の支給基準日以降に生まれた新生児に対しては、今後示される国の第2次補正予算に係る臨時交付金について交付額、使途等の詳細を精査して、市独自の支援策ができないか関係各課と協議していきます。

意見

子育て支援ナンバー1を目指す市として、スピーディーな実施に向けての対応を求めます。また、「出産奨励祝い金」という名称の奨励という言葉は少し違う



健やか親子21

と想っています。条例名を「こんにちは赤ちゃん、ようこそ上野原市へ条例」として、本当にパパ・ママや、祖父母・親戚の方たちが喜んでくれて、生まれてよかつたね、丈夫に育つてね、ということを含めて条例の名称変更することも一つの方法ではないかと考えています、ご検討いただきたい。

他に、新型コロナウイルス感染症対策、市立病院の経営と医療従事者等について質問しました。

教育の安心環境・防災への取り組み



白鳥純雄

質問 学校が再開し、今までと違う教育環境の中で、最優先に取り組む課題は何か。

答弁 今後の対策に備え、GIGAスクール構想の前倒しによるICT環境の整備、Wi-Fi環境がない家庭へモバイルルーターの貸与を行い、全家庭でオンライン学習に対応できるようにします。

質問 コロナウイルスへの恐怖や不安に対し、心のケアが必要と思うが対応は。

答弁 保護者と連携し、きめ細かな健康観察や様々な専門スタッフと連携、協力し、組織的な支援体制で適切に対応します。

質問 感染症対策で、業務が増えているように見受けられるが職員増員へ取り組みは。

答弁 小6・中3を少人数編成などにするため、新たに教員の配置や、学習指導員、スクールサポートスタッフの配置を予定しています。

質問 SNS上での誹謗中傷、本人や近親者、医療従事者などが傷つかない対策は。

答弁 不確かな情報や事実と異なる情報を鵜呑みし、拡散せず、正しい情報に基づく冷静な行動を、市民の皆様にはお願いします。

質問 今年度取り組み予定の、防災士、防災ボランティア育成への取り組みは。

答弁 市地域防災リーダー養成講座を開催し、地域の防災リーダーを養成します。市が受講料を負担し、甲斐の国防災リーダー養成講座を受講していただき、防災士の資格取得を計画しています。

質問 将来人口の目標について、国は2060年に1億人を維持するとしているが、これは今年の人口から見ると20%減である。当市においても20%減で方向を示すべきと考えるが、目標を1万1166人としている。考え方は。

答弁 人口ビジョンの目標値は、現在の人口の減少幅をどう抑えるかではなく、社人研の推計値をどれだけ増やせるかという考え方で設定しています。国のアップ率は9.7%県は25.8%ですが、当市は59%のアップ率となっております。

質問 市域防災リーダー養成講座を開催し、地域の防災リーダーを養成します。市が受講料を負担し、甲斐の国防災リーダー養成講座を受講していただき、防災士の資格取得を計画しています。

質問 将来人口の目標について、国は2060年に1億人を維持するとしているが、これは今年の人口から見ると20%減である。当市においても20%減で方向を示すべきと考えるが、目標を1万1166人としている。考え方は。

答弁 人口ビジョンの目標値は、現在の人口の減少幅をどう抑えるかではなく、社人研の推計値をどれだけ増やせるかという考え方で設定しています。国のアップ率は9.7%県は25.8%ですが、当市は59%のアップ率となっております。

意見 国の減少率に見合う方向で設定すべきと考える。40年先のことですから展望・希望を持った取り組みをしていき1万1千人とならないようにしていくべき。総合戦略、人口ビジョンは5年毎に見直し、第3・4期に

意見 国の減少率に見合う方向で設定すべきと考える。40年先のことですから展望・希望を持った取り組みをしていき1万1千人とならないようにしていくべき。総合戦略、人口ビジョンは5年毎に見直し、第3・4期に

人口減少とまちづくり



長田喜巳夫

質問 繋げるとしている。第3期は今回の数値を上回るよう施策を展開していくべき。

答弁 第2期の総合戦略のアンケート調査によると、道路交通環境の整備必要が25.8%である。住環境の整備は住みやすいまちづくりに連動する。住民要望については迅速な対応を求める。

質問 公共交通の改善、道路整備、バリアフリー化など取り組んでいます。

答弁 道路沿い住宅周辺の樹木の伐採が必要。森林環境譲与税などにより、観光関連事業に連動させ、もみじ街道の整備、桜の名所づくりなど住民と共に進めるべき。

意見 道路沿い住宅周辺の樹木の伐採が必要。森林環境譲与税などにより、観光関連事業に連動させ、もみじ街道の整備、桜の名所づくりなど住民と共に進めるべき。

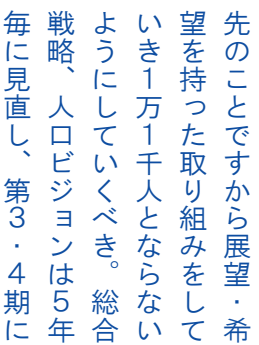
意見 道路沿い住宅周辺の樹木の伐採が必要。森林環境譲与税などにより、観光関連事業に連動させ、もみじ街道の整備、桜の名所づくりなど住民と共に進めるべき。

意見 道路沿い住宅周辺の樹木の伐採が必要。森林環境譲与税などにより、観光関連事業に連動させ、もみじ街道の整備、桜の名所づくりなど住民と共に進めるべき。

意見 道路沿い住宅周辺の樹木の伐採が必要。森林環境譲与税などにより、観光関連事業に連動させ、もみじ街道の整備、桜の名所づくりなど住民と共に進めるべき。

意見 道路沿い住宅周辺の樹木の伐採が必要。森林環境譲与税などにより、観光関連事業に連動させ、もみじ街道の整備、桜の名所づくりなど住民と共に進めるべき。

意見 道路沿い住宅周辺の樹木の伐採が必要。森林環境譲与税などにより、観光関連事業に連動させ、もみじ街道の整備、桜の名所づくりなど住民と共に進めるべき。



医療機関、困窮者に支援を



川田好博

質問 市立病院は3月～5月で約

3割の減収があったということだ。どう手当していくか。

答弁 経営努力をしてもなお不足

を生じる場合は、国の支援策を注視しながら、地域医療振興協会と協議していきます。

質問 市内のほかの医療機関への

支援は。

答弁 雇用調整助成金や持続化給

付金など多くの支援制度があります。希望する医療機関には、制度の確認や国や県の問合せを実施していきます。

質問

医療機関では感染症のリスクを抱えながら従事している医療スタッフを支援するという立場が必要ではないか。

答弁 市としてできることは積極

的に行っていききたい。

質問 市のホームページで、市税等の減免についてきちんと

答弁

説明が必要ではないか。

新型コロナウイルス感染症に関して減収した場合はホームページで徴収猶予など

お知らせしています。市民税などの減免についてホ

ームページで市民の方に周知を図っていきます。

今年度の収入が基準以下にな

るおその家庭に対して就学援助を行う必要があると

思うが。

質問

特別に事情がある場合は、前年の所得だけではなく、申請時の状況も含めて判断するよう、柔軟な対応をするようにしています。この制度を再度保護者に通知し、周知を図っています。

答弁

発熱外来



市長の政治活動、バスツアー参加費の徴収と会計処理は適正か



杉本公文

質問 昨年の11月24日に市長の後

援会が開催した熱海への、バスツアーにおける案内状や参加者の領収書のコピーを拝見し、参加費が徴収されなかったとの話を確認した。男性1万円、女性7千円の参加費の徴収はどのように行われ、どのように処理されたのか伺います。

答弁 これは私の後援会が主催し

私自身直接関わっており、後援会も私同様、その名を汚す事のないようあらゆる法令を遵守するよう心がけており、適正な会計処理を実施していると認識しております。

質問

承知しておりますか。

答弁 あくまでも後援会がやって

おりますので、私はそのこ

とは存じておりません。後援会に聞いてください。

質問

1万円又は7千円の参加費を徴収せず、誰かが提供・負担したとなれば公職選挙法の寄付行為に当たり、又

正確な収支報告を県の選管に提出がなければ政治資金規程法違反となる認識は。

答弁 繰り返しですが、後援会として適正に処理をしております。

質問

他に、新型コロナウイルス感染症対策について質問

をしました。

答弁

後援会のことだからでは済まない。市長には説明責任

がある。参加者によると、バス乗車時に、3千円の支

払いとその領収書が渡され、帰りに案内状にある金額の

領収書も渡されたと聞きます。市長はこの様な事実を



今後の市内小中学校の授業
(オンライン授業の取組について)



内田倫弘

質問 オンライン授業の形はどのような形をとるのか。

答弁 当市では、Google社の教育に特化した『G Suite for Education』を活用いたします。この主な機能である『Classroom』を利用し、児童生徒は学校の日常授業で、課題や宿題の提出、教材や資料の確認、共同編集でのグループワーク、教師への質問等が出来ます。まずはこの様な出来る所から始め、最終的には先生と生徒が画面を見ながら話が出る『Meet』という機能を活用し、遠隔授業が可能となるようにします。

質問 オンライン授業開始までのスケジュールは。

答弁 先生方に1学期中『Classroom』の理解を深め、子供達はPC教室でログインし『Classroom』に参加してもらいます。そして『Meet』を使ったホームルームの



体験や『form』を使ったアンケート機能を体験する予定です。また、文科省の方針を受けて可能な家庭から順次、家でログイン出来るか確認し夏休みには最低1回は先生とホームルームや健康観察の実施を計画しています。2学期以降は『Classroom』を使った授業で学年に応じた課題や資料の配布・提出を行います。また、実際の使用開始については、全生徒への端末の入れは山梨県教育委員会が8月に行い、各市町村で契約を締結、12月頃納期予定です。本格的な活用は3学期以降になると思います。

コロナ禍の学校教育現場の
現状と今後に向けて



八木一雄

質問 休業措置は児童・生徒に精神面や学習面での様な影響を与え、そのフォローやケアにはどう対処したか。

答弁 一部の児童・生徒に生活のリズムの乱れや学習面での取り組み進捗に個人差はあったが、担任やカウンセラーの電話連絡やメッセージの配布などきめ細かな対応がなされ精神面・学習面共に概ね問題もなく学校生活が再開できました。

質問 市内小中7校での遠隔授業(オンライン学習)の導入実施はいつから可能か。

答弁 教員と児童生徒のオンラインによる双方向で行う、新しい端末を使った遠隔授業が実施できる環境は、円滑に準備が進むと1月下旬〜2月上旬ごろの予定です。

質問

学習遅れを取り戻す為の施策として「少人数クラス」の導入は「小6と中3」でスタートか。また他の学年

への学習支援はどのように行うのか。

答弁 少人数授業などきめ細かな指導加配について小中学校の最終学年小6と中3を少人数編成にします。そのために必要な「教員」を配置します。また、他の学年についても休業中の未履修分の補修等、全体・個別指導の補助に当たる学習指導員を配置し、きめ細かな学習支援を行っていきます。現在、教員や指導員の募集を行っており、人材が確保でき次第対応していきます。

他に、コロナ後の新たな教育施策について教育長に抱負をお聞きしました。



市民の安心安全の情報発信を
地方創生臨時交付金の今後の活用策は



遠藤美智子

質問

総務省の「高齢者の災害時の情報伝達において2020年に目指すべき姿」では、ケーブルテレビの耐災害性の向上・コミュニティ放送による情報手段の多様化等の基盤整備の取り組みをすべきとしている。現在、高齢者を中心に「防災無線が聞きにくい、聞こえない。」等の声が寄せられている。当市の災害時の情報発信ツールは複数あるが、情報通信基盤事業の用途を明確にして、もっと効果的に活用するべきではないか。

答弁

ある対策をしていただいた。第2次補正予算による地方創生臨時交付金についても、必要なところへ迅速に確実に届けることが重要です。ひとり親世帯への臨時給付金や、市内事業者へのさらなる支援など、今後の支援策の考えを問う。交付金については詳細が明らかになり次第、交付限度額等を勘案し、新たな施策の活用など検討し対応していきます。

質問

防災行政無線は屋外放送と連動して宅内の音声告知端末末でも放送を行っていません。今後は音声告知端末の有効性と、市民の皆さまがご活用いただけるよう、改めてお知らせしていきたいと思えます。

質問

市独自の感染症対策については、これまでスピード感

新型コロナウイルス感染症対策



山口好昭

質問

地球規模、地球全体に広がった未知の感染症に対して市独自の支援策を伺う。

質問

第1次の市支援は、75歳以上の高齢者や障害児者、未就学世帯、妊婦等へマスク配布、子育て世帯へ生活支援金1万円支給、小中学生の給食費無償化、中小企業や個人事業主に10万円交付する事業者応援補助金、テイクアウト等を行う飲食店事業者等に3万円を交付する事業補助金などを実施。第2次支援として市内の全世帯へ50枚入りマスク1箱配布、小中学校の全ての児童・生徒がパソコンによる家庭学習を行うための機器整備、大学生等へ5万円給付、高校生の保護者へ1万円給付、傷害児者通所事業所及び介護サービス事業所に対する感染症の予防を目的とした物品等の購入費補助を迅速に実施。これらの

質問

市支援は第1次と第2次を合わせると総額で3億7千万円規模となります。市長は本会議初日の所信で感染症の長期化を見据え市民の健康で安心・安全の暮らしを守るために、全身全霊で取り組んでいくと述べたが市長の任期を来年に控える状況を含め今後の取り組みについて見解を伺う。

答弁

現在は全庁を挙げて取り組んでおり、最後まで取組む覚悟であり責務と考えます。

次期市長選に出馬し引き続き市政運営を担うべく決意を固めたところです。

他に、新型コロナウイルス感染症

における災害対策について、Net119の導入について質問しました。



白い箱 (ONU)

第2次 上野原市 新型コロナウイルス感染症緊急対策

上野原市では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う、市民の健康被害を防止し、このままでは市民生活が支えられなくなる、特に高齢者や障害者等の脆弱な市民の生活を守ることを目的として、第2次緊急対策の一環として、本市独自の支援策を実施しています。

施策名	内容	実施期間	対象	総額
マスク配布事業	市内全世帯に50枚入りマスク1箱を配布する。	令和3年10月1日～12月31日	市内全世帯	約1億5,000万円
小中学生生活支援金	市内小中学生に1人あたり1万円を支給する。	令和3年10月1日～12月31日	市内小中学生	約1億2,000万円
給食費無償化	市内小中学生の給食費を無償化する。	令和3年10月1日～12月31日	市内小中学生	約1億2,000万円
事業者応援補助金	市内事業者等に1人あたり3万円を支給する。	令和3年10月1日～12月31日	市内事業者等	約3,000万円
大学生等へ5万円給付	市内大学生等に5万円を支給する。	令和3年10月1日～12月31日	市内大学生等	約5,000万円
傷害児者通所事業所及び介護サービス事業所に対する物品等の購入費補助	市内事業所等に1人あたり1万円を支給する。	令和3年10月1日～12月31日	市内事業所等	約1,000万円

令和2年5月11日

上野原市長 江口英雄 様

上野原市議会議長 川島秀夫

新型コロナウイルス感染症対策に関する提言について

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、緊急事態宣言が5月31日まで延長されるなど、感染の終息が見通せない状況となっています。

当局においては、「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、国・県と連携して感染症対策に取り組むことにより、感染者の増加を防ぐとともに、市独自の取組みを実施・検討されており、迅速な対応に敬意を表するものです。

市議会においても、議会内での感染防止や、不要不急の委員会等の開催を自粛するとともに、感染拡大防止、一日も早い終息のため議会として何ができるか、議員間討議を重ねてきました。

つきましては、議員各位の提言・要望等を取りまとめましたので、今後の「新型コロナウイルス感染症対策本部」推進に際し、市民の安全安心な生活の確保と不安解消が図られるよう下記のとおり提言します。

記

- 1 新型コロナウイルスの感染を最小限に食い止めるため、発熱外来を設置し、必要に応じPCR検査、抗体検査が実施できるような環境整備の確立について努めること。
- 2 休校中となっている小中学校の授業を個別に受けられるよう様々なインターネットサービスを駆使し、全ての児童、生徒がサービスを利用できるよう電算機器等の貸出しを併せて検討するよう努めること。
- 3 新型コロナウイルスの終息が長引くことも鑑み、医療や介護、福祉従事者のマスクや防護服といった衛生用品が常時確保されるよう努めること。
- 4 市内商工業者、個人事業主及び困窮している学生への財政支援がされるよう努めること。
- 5 市のホームページや広報を活用し、新型コロナウイルスに関する各種サービスや相談窓口が迅速に全市民に周知されるよう努めること。
- 6 新型コロナウイルスの感染症緊急経済対策に伴う各種給付金を全ての対象者が申請できる支援を講じるよう努めること。

以上

議員表彰

全国市議会議長会表彰

20年功績

岡部 幸喜議員
尾形 重寅議員

山梨県市議会議長会表彰

15年功績

尾形 幸召議員
杉本 友栄議員
杉本 公文議員

全国市議会議長会及び山梨県市議会議長会より功績のあった各議員に対して、表彰状が送られました。



提言

市議会から

市長へ提言

市議会は新型コロナウイルス感染症対策として、市民からの要望に沿って意見をまとめ、5月11日に川島秀夫議長から江口英雄市長に対し「提言」を提出しました。この提言の内容の多くは、6月議会に提出された補正予算に反映されました。

ギガ
G I G A
スクール構想

新型コロナウイルス感染症の拡大により、小中学校の休校が余儀なくされました。今後児童生徒が家庭でのオンライン授業に対応するための準備が進んでいます。

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
機器の整備											
校内通信ネットワーク整備		入札						工事完了			
児童生徒1人1台PC整備											
県・契約分											
市・契約分											
家庭学習用モバイルルーター											
学校教職員用ビデオカメラ											
オンライン学習											
児童生徒へのアカウント配布											
試験運用予定											
本格運用予定											

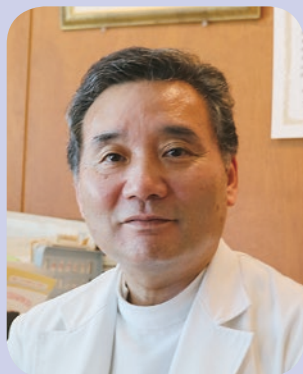
国庫補助の申請、納品時期など予定が変更することもあります。

G I G Aスクール構想は、児童・生徒に一人1台のパソコンが利用できる体制を目指しています。3月定例会に引き続き、議会から提言もあって、全児童・生徒を対象とするため6月定例会で補正予算が組まれました。

市民の声

姿なき侵略者

侵略してきたのは、どこの国でもなく、ましてや怪獣でも宇宙人でもない。地球上に人類より遥か以前より生きているコロナウイルスという微生物でした。皮肉なことに人間同士が争う中、このウイルスは国や人種など関係なく平等に攻撃してきます。これから私たちはこのウイルスを撃退する、あるいは共存する道を模索していかなくてはなりません。世界中で医療従事者は頑張っています。今、私たちにできることは、それまで自分を守り、他人を思いやる行動をしていくことではないかと思えます。手洗い、うがい、マスク、当たり前のことをやりましょう。人類の英知は必ずやこの危機を乗り越えてくれることを信じて。



長田クリニック
長田 一仁院長

みんなで頑張りましょう。

9月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
8/30	8/31	9/1	2	3	4	5
			本会議		予算特別	
			傍聴可			
6	7	8	9	10	11	12
	委員会 総務産業 文教厚生		決算特別		決算特別	
13	14	15	16	17	18	19
	決算特別			一般質問	一般質問	
				傍聴可	傍聴可	
20	21	22	23	24	25	26
	敬老の日	秋分の日	一般質問 (予備日)		本会議	
			傍聴可		傍聴可	

議会の傍聴について

通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。委員会の傍聴については、委員長の許可が必要です。

託児サービスをご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までのお子さんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。

ご希望の場合は、傍聴希望日の1週間前までに、議会事務局（62-3344）へお申し込みください。

議会だよりのQRコードです



編集後記

盛夏の候、今号の作成にご協力いただいた皆様に心から感謝しております。

市内小中学校は新型コロナウイルス感染症対策による休業期間が明け6月1日より平常授業が始まり、子供達の登下校時の楽しそうな声が幸せに感じます。しかし、まだまだ新型コロナウイルスは猛威を振るっており、6月、7月も県内で感染者が出てしまいました。当市もこの定例会はコロナ議会となり、一般質問では10名の議員が登壇、全員が感染症対策に関する質問をし、今後起こりうる第2波・3波に備えての対策について確認をしていました。

今後も『議会だより』では多くの情報を発信して参りますので今後とも宜しくお願い致します。（内田）

議会だより編集常任委員会
委員長 川田 好博
副委員長 白鳥 純雄
委員 内田 倫弘
委員 八木 一雄
委員 山口 薫
委員 遠藤美智子

